



災害救援
ネットワーク北海道本部
チームやんじー
と
アグネスの
facebookから
2016年12月27日

クリスマスに本が届いた。まほろばの社長宮下周平さんの二冊目の著書。

一冊目も、チームやんじーの東日本大震災のことも触れていただき、二冊目も触れていただきありがたいことです。

『倭詩一懐かしい未来がここに』著書の表紙に釘付けになりました。

東日本大震災時は、炊き出しには欠かせない関わりのある野菜屋さんや果物屋さん、いろんな方々をご紹介いただき、まほろばのお客さまにも募金など呼びかけていただき、何より、まほろばのオリジナル浄水器エリクサーで汲んだお水を何百ケースも東北まで運びました。

また、あやの里あやの森主催の衣展も開催させていただいています。

昨年、やんじーが人生初の入院、大病をした際、非常に心配していただき、退院した時にまほろばのお店に行った時は、社長さん始めスタッフみなさん、よかったねー。と退院を一緒に喜んでくださっていました。

ところが、、、そんな時も東の間。
熊本地震が四月に発生。

やんじーが退院して半年が過ぎようとしてた時でした。熊本にいく数日前、まほろばの社長に熊本支援にいくことを話した時、心底心配して下さっていました。(おそらく、ほとんどの方々がそんな気持ちだったと思います。)

行く直前に、食事に誘われ、『本当に行くのかい？もし身体に何かあったらどうする？戻って帰ってこれないかも。奥さんが反対してもいくのかい？』私の声も代弁して下さりました。社長も沈黙が続き、私も。重い空気が流れました。

あの食事の風景は一生忘れられない光景となりました。心底心配してる気持ちで、愛情いっぱいにはやんじーに説得し引き止めてくれようとしてくれた社長。



『東日本大震災の時は、全面的に後方支援できたが、今回は後方支援することが、やんじーの身体が完全に回復していないのに応援することになるから、まほろばとしては後方支援できないかと思う。』と。

とても苦しい表情で唸りうつむいてた社長の顔は忘れられません。

そして、熊本にチームやんじーは行き、元気に活動してる姿を見ていただき、お店で社長始め、スタッフ一同募金を呼びかけていただき、何かと気にかけて下さりました。

改めてまして、まほろば社長宮下様、奥様、スタッフのみなさま、そしてまほろばに足を運び募金くださったお客さま、関わるみなさま、ありがとうございます。年明けもやんじーの身体の大事をとって、恒例のおもちつきできなくて申し訳ありません。



また、衣展は再開しますのでお逢いしましょうね。

わたしは、いろんな方々にこんなにも愛情いっぱい支えられてること。自分のイノチの使い方、使命とは？身体の限界は誰が決める？病院と身体の関係？夢は実現化していく。いろんなことを一気に体験体感し、見させていただいています。



また、災害とはいえ、熊本にいくことで出逢った体験や人々、被災された方からココロから交流できたこと、新たな世界にも出逢えました。

そして、自分も被災し、泣きたくなる体験、いろいろ感じ、深みが出てきました。ありがたいことです。

泣いたり悲しんだり、笑ったり感動したり、人のキラッとしたところに触れたり、人のやさしさ、素晴らしさ、大自然の脅威と懐の深さにも触れ、ほんと本にでも書き留めたいくらい、この数年は怒涛だなあ。と。

みんなそれぞれのストーリー、今年1年いかがだったでしょうか？

(文：アグネス)

